

事務事業名	出雲の国・斐伊川サミット参画事業	所属部	政策企画部	所属課	政策推進課
政策名	(V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G	政策推進G	課長名	佐藤 満
施策名	(35)観光の振興	担当者名	安部 真美	電話番号	0854-40-1011
目的	対 市外の人 意 A)雲南市を訪れてもらう。B)市内で消費して	予算科目	会計 款 大事業 大事業	(内線)	3513
基本事業名	(104)観光資源の開発・充実	0 1 1 0 0 1	0 1 1 0 0 1	企画総務管理事業	
目的	対 市外の人 意 市内で消費してもらう。	0 5 3 5 4 3	0 5 3 5 4 3	出雲の国・斐伊川サミット負担	金

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (19 年度～)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 斐伊川・神戸川水系の2市2町(出雲市・雲南市・奥出雲町・飯南町)の首長が集まり、古代出雲文化や観光、教育、産業、芸術文化、福祉などさまざまな分野での連携協力の方策について協議、実施する場としてサミットを開催(年2～3回)する。また、各市町実務担当で適宜実務者会議を開催し、広域観光・イベントPR等の共同実施やトロッコ列車の運行支援等の事業を推進している。

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動)	25年度計画(25年度に計画する主な活動)			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア サミット首長会	回	2	1	1	2
	イ 実務者会議	回	2	2	2	2
	ウ イベント共同実施	回	3	3	3	3
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	市民・市外の人	ア 雲南市の人口	人	41,917	41,159	40,548	40,440
		イ 2市2町の人口	万人	24	23	23	23
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	スケールメリットを活かして、ア)雲南市を訪れてもらう。イ)市内で消費してもらう。	ア 観光入込客数	万人	88.5	95.0	96.6	97.0
		イ 観光消費額	百万円	3,771	3,715	未確定	4,220
		ウ					

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
構成市町負担金	財源内訳	千円				
【内訳】	国庫支出金	千円				
・一般会計;PR事業等共同事業費等	県支出金	千円			4,300	4,300
893,000円	地方債	千円				
・トロッコ列車特別会計;トロッコ列車運行経費等 4,337,000円	その他	千円				
	一般財源	千円	5,281	5,198	930	930
	事業費計(A)	千円	5,281	5,198	5,230	5,230
	正規職員従事人数	人	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	56	56	56	
	人件費計(B)	千円	218	221	219	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	5,499	5,419	5,449	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
平成20年度に「木次線トロッコ列車活用協議会」が解散したことを受け、トロッコ列車に関する事業を引継ぎ、圏域の観光の柱と位置づけ振興を図ることとしている。	事業費は、トロッコ列車に関するものが大部分を占め、費用対効果を図るために事業費の削減も行われている。	トロッコ列車の運行については、関係事業者から支援継続等を求められている。広域連携について、大きな要望等は現時点ではない。

事務事業名	出雲の国・斐伊川サミット参画事業	所属部	政策企画部	所属課	政策推進課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	圏域外の住民の動向及びニーズを更に反映させ、2市2町の連携強化で交流人口を更に拡大させることが可能と考える。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	出雲市との観光連携は他になく、斐伊川・神戸川を一体的に売り出すには、有効である。今後、この事業が核となり、構成市町の類似事業を取り込めれば可能性はある。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在の事業展開規模からすれば、削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在、事務局を出雲市に担当していただいている。実務者会議出席と首長のスケジュール調整、関係課調整が業務の中心で削減余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	受益者は、観光客及び斐伊川・神戸川流域内住民であり、公平と言える。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	広域連携による観光振興、イベント展開は交流人口拡大を進める上で、効率的で有効な手段と考える。現在のところ進めようとしている事業の成果を出すことが第一であり、当面、トロッコ列車の更新について協議を進めたい。
		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
<p>・現在トロッコ列車を核とした取り組みが主であるが、様々な観光資源との連携を図ることにより、相乗的な効果が期待できる。</p> <p>・平成26年度のトロッコ列車車検切れ対応について、JRとの協議を進める必要がある。(運行方針、市町負担の要否、車両変更等の場合のイベント開催等)</p>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																						